

地域医療支援病院
地域周産期母子医療センター
地域がん診療連携拠点病院
専門医療施設(がん/成育/骨・運動器)
エイズ治療中核拠点病院
第二次救急医療指定病院
臨床研修指定病院

FMC NEWS

FUKUYAMA MEDICAL CENTER

福山医療センターだより

2023 September
Vol.16 No.9



日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医修練施設Aへの 昇格を受けて



院長
稲垣 優



日本肝胆膵外科学会
高度技能専門医修練施設認定証

当院は2008年に広島県東部地区で初めて日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設Bの施設認定を受け、高難度肝胆膵外科手術を積み重ねて参りました。修練施設Bは5年間で年平均30例以上の高難度肝胆膵外科手術を行った実績を基に認定されます。それから既に15年が経過しましたが、その症例数も伸び、直近の過去5年間で年間平均50例以上の高難度肝胆膵外科手術を行い、その実績が評価され、今年6月1日付で修練施設Aへと昇格となりました。修練施設Aへの昇格は長年の課題であり、漸く、当院も肝胆膵外科手術のハイボリュームセンターとして認められ、感慨深いものがあります。

その間、高度技能専門医を同時に育成し、今年は当院の徳永尚之救急医療部長兼肝胆膵外科医長も高度技能専門医に合格し、指導医1名(筆者)、専門医3名の体制で高難度手術を含めた肝胆膵外科手術に取り組んでいくとともに、後進の育成に努めて参ります。今年度には手術支援ロボットの導入も決定しており、肝胆膵外科領域にもロボット支援手術を導入していく予定です。

今後とも地域に最新、最善の医療を提供するべく、鋭意努力して参りますので、今後の活躍を御期待ください。

肝胆膵外科高度技能専門医



救急医療部長
徳永 尚之



肝胆膵外科医長
北田 浩二



教育研修副部長
内海 方嗣



CSANZ2023に参加して



臨床研究部長

梶川 隆

今年の8月オーストラリアで開催されたオーストラリアニュージーランド心臓病学会にて演題発表をして参りましたのでご報告申し上げます(図1)。



図1. ブドウ畑を背景にした学会ポスター

この学会は、オーストラリアとニュージーランドが交互に毎年開催し、近隣の国々からも参加される心血管病医療の学会です。

この学会も良いと思ったでは、同じテーマで、朝から夕方まで同じ会場で行われるので、聴講者は場所を移動せずじっくりと聞くことができることでした。

私は心血管系の画像診断に興味がありCT、MRI、心臓エコーなどのテーマを統一的に聴講でき充実した学会を過ごすことができました。

私の今回の発表は当院で過去16年間に発見され、治療された16症例の褐色細胞腫とパラングリオーマをまとめたものでした(図2)。

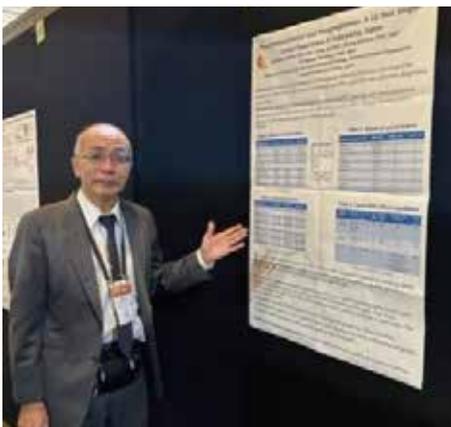


図2. ポスター会場にて

褐色細胞腫とパラングリオーマは高血圧の原因となるカテコールアミンを産生する比較的希な腫瘍で、従来は、10%腫瘍と言われ、10%は悪性、多発性、副腎外に発症すると言われていました。

しかし、近年この腫瘍は全てにおいて、悪性化する潜在的な能力を持っていることが見出され悪性転換するのはその程度の問題であると認識されるようになりました。

このため病理検査ではKi染色陽性率、GAPP分析、遺伝子解析でのSDHB変異陽性など新たな解析が行われるようになってきました。今回の症例検討では新たな病理解析は近年の症例で行われた全体の1/4症例くらいでした。今後のさらに症例が増え解析結果を加え行けば新たな知見が得られかのではなどの意見がありました。

16症例の大半は検診とか、他のがんの経過観察とかで偶然見つかったもので後遺症などを引き起こす前に発見できたラッキーな症例でありました。

しかし、1症例は、肉眼的血尿で発見されたときには、約6センチの大きさに成長した膀胱腫瘍で、種々の治療にもかかわらず、5年後には死亡された30歳代の症例でした。

また他の2例では脳卒中を発症し、血圧が不安定なため近隣のリハ専門病院で入院中に精査を行ったところ副腎の腫瘍が見つかり手術に至った症例でした。

比較的若年で高血圧の治療に難渋する症例では一度は鑑別診断に挙げるべき疾患でありCTなどで簡単にスクリーニングでき、さらに腫瘍が見つければMIBGシンチやMRIを併用することによりさらに診断精度が上がることを強調できた発表でした。

今回のポスターセッションは会期の夕方、地元特産のワインやチーズが振舞われ周りの演者や視聴者とも、リラックスした雰囲気での質疑が行われ楽しみながら学ぶことのできた場で

した。また提供されたワインは赤、白、ロゼ、スパークリングとオーストラリアワインの産出量の5割近くを生産する地域だけに気合の入った逸品でした。

オーストラリアは1788年にイギリスは当初は囚人の流刑地として移民を開始しましたがその後はゴールドラッシュなどで一般人の入植も増えてゆきました。

私の行ったアデレードはさらに後の1836年より入植がはじまり町にはレンガ造りの教会、南オーストラリア大学など公的な建物が整然と並びこぢまりとした街ではありますが気品の漂う町並みでした(図3、図4、図5)。緯度としては福山と反対の南緯34度くらいと同緯度ですが8月真冬にもかかわらず海洋性気候のためか最低気温は8-9度、最高気温は17-18度と温暖な気候でした。そのため天気の良い日はスーツ姿から半袖姿の人が混在する状況でした。

会期の終了後、地元バロッサ渓谷にあるワインナー巡りの半日ツアーに参加いたしました。町周辺には羊が群れる広大な牧場やブドウ畑が広がり青空は澄み切っていて一服の清涼剤となりました(図6、図7)。

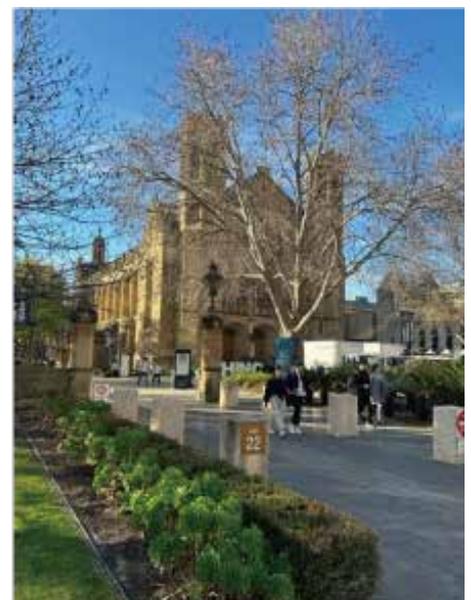


図3. 南オーストラリア大学講義棟



図4. 開拓当時から教会



図5. 古風な市立美術館



図6. 広大な牧場



図7. ぶどう畑

バロッサ渓谷はオーストラリア最古といわれるワイン産地のひとつでその開発は19世紀中葉、1842年にさかのぼりますが、プロテスタントを信仰する人びとの一派が、ドイツ国内での迫害を逃れてバロッサに移民してきたのが始まりです。そこが母国ドイツのワイン生産地ライン川流域と似通っていることからバロッサにはぶどうの樹が植えられ、ワイン造りがおこなわれるようになりました(図8)。



図8. バロッサ渓谷開拓の記念碑

ツアー参加者はカナダ、イギリス、ニュージーランド、南アフリカなど英語圏の家族連れ、女性同士の集まりが多くおばちゃんたちのトップスピードのよもやま話には少しついてゆけません。英語圏に暮らす人々は国境など気にせずに気楽に移動し交流できる点がうらやましく感じました。(図9、図10)



図9. 訪れたワイナリー



図10. ツアーでは人気のワイン

席が隣となったご婦人はオーストラリアに働きに来ている娘さんがお母さんをイギリスより招いた2人連れでした。リバプール出身で「ビートルズ発祥の地ですね」と話を向けると「フットボールでも有名ですよ」と地元愛にあふれるバリバリのリバプールFCファンでした。また「娘がどうしてもいらっしゃって誘ってくれたの」と娘の成長を誇らしげに語る姿は母の実感がこもっていました。

アデレードで感じたことですが路面電車の初乗りは円安でも75円くらいと安いのですが食料品は1.5-2倍位の実感でした(図11)。



図11. コンビニの立て看板(1\$=97円くらい)

後になってネットでビッグマック価格(各国の物価の状況をマクドナルドのビッグマックの値段で比較)もオーストラリアは日本の1.5倍。一方OECDの平均賃金もオーストラリアは日本の1.5倍と高賃金でした。

語学に自信があつてガッツと専門技能のある若者が今後海外に腕試しに出てゆく事が増えてゆくのではと思われました。

一方で日本に帰ると世界中の美味しいものが比較的リーズナブルな価格で手に入り日本食、中華が欠かせない私にとってはうれしい帰国でした。

稿を終えるにあたり今回の出張に快く送り出してくださった病院スタッフの方々に感謝申し上げます。

いろんなテーマでつぶやきます 外科医のひとりごと

Vol.46 「防災から減災へ」



福山医療センター
外科診療部長
大塚 真哉

プロフィール
1990年岡山大学医学部卒、医学博士。岡山済生会病院、岡山大学などを経て99年から福山医療センター外科勤務。専門は消化器外科。特に胃がん大腸がん外科。岡山大学医学部臨床教授、日本内視鏡外科学会評議員で、ESMO(欧州臨床腫瘍学会)などに所属。座右の銘は山本五十六の「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」。

震災100周年

9月1日は関東大震災100周年でした。関東大震災は火災、阪神・淡路大震災は家屋倒壊、東日本大震災は津波による死傷者が多いという特徴があります。地震国日本での防災は難しく、減災が重要です。「クラッシュ症候群」とは、手足が長時間、物に挟まれて筋肉壊死や神経まひなどを引き起こす

災害	外傷・感染症	循環器疾患	精神疾患
直後	圧死、溺死、外傷、クラッシュ症候群	脱水、熱中症、一酸化炭素中毒	パニック
1週間	胃腸炎・食中毒、肺炎、感冒	肺血栓塞栓症、脳梗塞、心筋梗塞	ストレス、うつ
長期間	外傷後遺症	高血圧関連疾患	PTSD

【災害後に現われる症状】

9月9日は「救急の日」でした。救急器具として有名なAED(自動体外式除細動器)ですが、完全に止まった心臓に電気ショックを与えて動かす装置だと誤解している人が

「肺血栓塞栓症」はエコノミークラス症候群とも呼ばれます。長時間の窮屈な姿勢や脱水などで下肢の深部静脈に血栓が形成され、それが肺の血管を詰まらせ、最悪の場合は死に至ります。避難所で起こりやすいので水分補給や足の屈伸運動をしましょう。他にも災害備蓄品の準備や避難経路の確認など、普段からの備えが大事です。

し、死に至ることもある怖い外傷です。普段から家具を固定するなどしておきましょう。脱水や発電機・木炭が原因となる一酸化炭素中毒にも気を付けてください。

多いようです。心停止には、完全に心臓が止まる「心静止」と、致命的不整脈の「心室細動(VF)」や「無脈性心室頻拍(VT)」があります。一般市民が遭遇する突然死は心臓関係が六割以上で、その多くが致死的不整脈です。VFやVTになると、心臓は震えるのみで血液を送り出せなくなり、意識を失い、数分で脳細胞が死んでしまいます。救命には迅速な心肺蘇生と電気ショックが必要で、AEDの使用により救命率が上がります。しかし、昨年凶弾に倒れた安倍晋三元首相が陥った「出血性ショック」のように、不整脈以外の要因で心臓が止まってしまった心静止では有効ではありません。通常はどちらか判断できないので、心停止後に数分で死に至る脳細胞に血液を送り続けるため、胸骨圧迫を行いながらAEDを装着することが重要です。装置

が自動で心電図を解析し、除細動が必要な場合、電気ショックを、不要な場合は胸骨圧迫を継続するようにとの指示を出します。心停止後、救命の可能性は時間とともに低下し、三分以内に蘇生を開始すると75%が救命されますが、何もしないと救命率は一〇分後には10%以下になります。救急車が到着する九分後までの心肺蘇生が重要です。方法としては、①119番と同時に人を集め、AEDを要請②反応がなく呼吸がない場合は心停止と判断し、直ちに胸骨圧迫を開始(最重要)。感染対策が行えて人工呼吸法を修得した人なら、三〇回ごとに二回の人工呼吸も行う③AEDを装着して音声指示に従う



【胸骨圧迫の方法】

- ① 胸骨の下半分を5cmの高さで
- ② 100回/分の速さで力強く
- ③ 蘇生するまで絶え間なく



山陰鳥取便り

No.38

鳥取大学医学部附属病院小児外科
教授 長谷川 利路

今年も暑い夏に悩まされました。年々最高温度が上昇しており日本でも39℃を超える地域が見られたようです。

そのような過ごしにくい毎日ですが、ちょっと爽やかな話題を提供します。

前月号で紹介した現役鳥取大学医学部6年生でバレエダンサーの「河本龍磨」君です。鳥取市出身で、兄と姉がバレエをやっていたことに影響され、彼自身も4才からバレエを習い始めたそうです。メキメキと腕を挙げていき、地元でも有名となり、高校生の時にロシアの有名な国立ポリショイバレエアカデミーに短期留学されています。

ポリショイバレエはモスクワにあるのですが、サンクトペテルブルクにあるマリインスキーバレエとともにロシアの代表的なバレエ団で、19世紀末にチャイコフスキーが「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」「白鳥の湖」という3大バレエを作曲し、20世紀最初にディアギレフによるロシアバレエ団「バレエ・リュス」が結成され、この2バレエが旧ソ連の黄金時代を築いてきました。ニジンスキー、ヌリエフやパリシニコフ、アンナ・パブロワ、20世紀最高のプリンシパルと称えられたプリセツカヤなど、多くのバレエダンサーが輩出されています。

このようなところに短期間でも留学された河本君は素晴らしい経験をされたと言えます。バレエ以外でも野球やサッカー、ホッケー、水泳などスポーツには万能であったようで、「スポーツ医学」に興味を持つようになり、そ

の結果鳥取大学医学部医学科に進学されました。医学部に入ってからにはさらにバレエに熱中するようになり、解剖学や生理学を勉強するようになってからはバレエをしている時に「この筋肉の作用は?」「骨の動きはどうなんだろう」「この動きをすると怪我をしやすくないかな」などを考えるようになったそうです。しかし、こんなことを思いながらバレエを踊っているダンサーがかついていたのでしょうか?ちょっと尋常ではない印象を持ってしまいます。

医学部に入ると1年生の2019年にはベルギーのアントワープ王立バレエ学校に短期留学され、2019年第29回全国バレエコンクールInNagoyaシニア男性部門優勝、2021年第8回山陰バレエコンクール県知事賞受賞、2022年第25回NBAバレエコンクールシニア男性部門第2位、今年8月11-13日全日本バレエ協会での公演をこなされるなど輝かしい成績を残されています。

医学部では授業や実習がみっちりあり、病理学や薬理学などの基礎医学、内科学や外科学などの臨床医学等、新しい知識を身につけなくてはいけなく、結構忙しいのですが、どうやってバレエと両立させているのでしょうか。ある時バレエの公演と試験日程が重なってしまいパニックになったようですが、彼の選択は「今回の試験は棄権して、再試験に全てをかける」ということでした。

彼によるとバレエダンサーにおける運動器の障害は無理な屈曲進展を行うため①足関節、②中趾骨や外頸骨障害、内反小趾などの足部、③腰椎の順に負担がかかるそうです。以前本誌において「演奏家医学」という分野があることを紹介しましたが、バレエダンサーにおける身体の不調を専門に扱った医師はいないため、彼は「スポーツ医学」、特に「ダンサー医学」を目指すということです。



欄外

以前に紹介したように鳥取大学病院では昨年4月に「スポーツ医学センターTottori University Hospital Sports Medical Center: TSA」が開設されました。アスリートが持つ医学的な問題は、脳・眼・耳・鼻といった神経感覚器の障害、呼吸器、循環器などの内科的疾患、栄養バランス、ホルモンバランス、噛み合わせ、メンタルの不調など多岐にわたります。このような問題に対して迅速かつ専門的なサポートを行うもので、多職種が関わって行くものです。

河本君にはこれまでの経験と旺盛な探求心を活かし、この分野でしっかり勉強して将来の「スポーツ医学、演奏者医学」の分野で世界を牽引し、コンクールで成績を挙げたように今後素晴らしい成果を期待します。

.....

(左頁下写真)鳥取大学医学部医学科6年生 河本龍磨君。現役バレエダンサーとして活躍、将来はスポーツ医学を専攻したいとのこと。かつてのロシアのダンサー「ニジンスキー」を彷彿とさせる??。右の写真の居酒屋では普通の大学生でした。



先日 夏休みにANAで旅行した時の機内から見えた夜明け。

機内サービスでは希少なシャルドネシャンパン「ルロフ」：美味でした。

連載 No.112 事務部だより

『福山の魅力』

企画課専門職 藤田 聖典



4月から転勤で福山医療センターで勤務させていただいているが、私は元々地元が福山であり、市の中心から少し北部に位置する駅家という町で私は育った。高校卒業後、大阪の大学へ進学し、卒業後は岡山、東京での勤務を経て、今回20年振りに福山に戻ってきたことになる。そんな私が思う福山市の魅力について、話をさせていただきたい。久々の福山市で、地元に戻ってきたなど実感できるもの、それは言葉だ。いわゆる備後弁と言われる福山の方言だが、広島市の言葉と少し違う、柔らかいイントネーションが特徴である。

ただし少し問題があり、他の地方、特に東京では、思っていた以上に、言葉が通じないのである。

通じなかった方言その1:「たちまち」 これを県外で言うと、「すぐさま」の意と勘違いされる。さぞせわしい人だと思われていたに違いない。

通じなかった方言その2:「たいぎい」 それってどういう意味?といちいち聞き返されることがすでにたいぎいのである。

通じなかった方言その3:「はぶてる」これは全国共通語だと思っていたので、方言だと知った時はカルチャーショックを受けた。

この他にも、私が見ついていないだけで、実は通じていなかった言葉はたくさんあったのではないかという気がしてきた。

これを読んでいただいている方の中には、県外の方もいらっしゃると思う。結局たちまちってどういう意味?とまっていることだろう。ここでは特に解説はしないので、お近くの福山市民にでも聞いていただければと思う。

私自身、地元の言葉にはとても愛着があるが、ふとした言葉が通じない問題、そして、「もしかして広島の人ですか?ということはカープファンですか?」と聞かれ「いえ、野球は詳しくないので」という不毛なやりとりを十数回繰り返した経験も手伝い、東京という地で、いつの間にか標準語っまい喋り方をしてしまう自分がいた。ここだけの話であるが、普通に「～だよな。」とか言ってしまっていた。そのおかげで現在の私は、中途半端に標準語交じりのエセ福山人のようになってしまっている。というわけで、私は今、言葉のリハビリ期間中である。皆様にはどうか暖かい目で見守っていただきたい。

「被爆者の家族伝承者に応募して No.2」



放射線治療科医長

兼安 祐子

14才で被爆した被爆体験証言者の梶本淑子さん(S6年生まれ)は、先日著書「14歳のヒロシマ 被爆者が伝える戦争と平和のはなし(河出書房新社)」を出版されました。その中で、梶本さんは、2022年2月24日ロシアがウクライナに侵襲して、建物を焼き尽くし、人々が逃げ惑う姿をテレビで見た時、78年前のヒロシマを思い出されたそうです。核兵器使用をちらつかせ脅すロシアのプーチン大統領に、梶本さんは「何もわかってない」と、怒りがこみ上がったそうです。

2023年7月31日の読売新聞に掲載されていましたが、読売新聞社・広島大学平和センター・広島テレビが共同で行った被爆者100人へのアンケートによると、5月に広島で開催された先進7カ国首脳会議(G7サミット)で、各国首脳が広島平和記念資料館を訪問したことを、63人が評価できると回答しました。一方、首脳声明「安全が損なわれない形で核兵器のない世界への究極の目標に向け、軍縮・不拡散の取り組みを強化する」に対して「評価できない」が62人でした。また、核兵器廃絶近づいたか?に対して、「思わない」が74人でした。岸田文雄首相が、サミットで発出した「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」では「核兵器のない世界」を究極の目標とする一方、「核兵器が存在する限り、防衛目的のために役割を果たし侵略を阻止する」と明記しました。防衛のために核兵器を正当化する「核抑止」の考え方に、被爆者団体は強く反発しました。県被団協の箕牧智之理事長は、「核兵器廃絶という被爆者の願いがむなしく消えていくような気がした」と落胆していました。廃絶への道のりは遠いですが、私は、各国の首脳達が、ヒロシマで被爆者小倉桂子さんの証言を直接聞いたことは非常に意義深いと思います。

2023年8月6日、原爆投下から78年の広島平和記念式典で、松井一貫広島市長は、「核による威嚇を行う為政者がいるという現実を踏まえるならば、核兵器による抑止論は破綻している事を各国の首脳は直視し、国民を厳しい現実から理想へ導くための具体的な取り組みを早急に始めるべきだ。日本政府には1日も早く核兵器禁止条約の締約国となって欲しい。また11月の締約国会議へオブザーバー参加して欲しい。」と述べ、核兵器廃絶を訴えました。

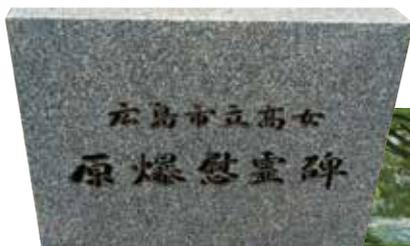
2022年7月から始まった、私の被爆者の家族伝承者養成コースにおける第一歩は、8日間の研修後、年内に10000文字の講話原稿を書くことでした。私は研修中に本屋で購入した数々の被爆体験記を読み、平和記念資料館の被爆者達の証言ビデオを見たり、被爆者の証言を聞きに行き、被爆の実相をイメージしました。私は昨年10月に広島市役所平和推進課へ原稿を提出し、担当者とは何回もやりとりして、修正を重ね12月末に完成させました。2023年1月23日に1回目の発表をし、その後、聴講者や平和推進課からのコメントを見て原稿を修正し、2回目の発表に向けてスライドを作成しようとしていますが、自分の学会準備等で現在作業が中断しております。この原稿は、被爆者から伝承者が聞き取って作成した原稿を平和推進課担当者が確認するため、研修中に被爆者との意志疎通がと

れなくなる、被爆者が永眠する等の場合に、被爆証言者等が講話原稿の確認ができなくなり、「原稿が真実かどうかを確認することができないため」研修は中止となり、伝承者にはなれません。私は、母が元気なうちに原稿を完成させなければと焦っていました。ところが先日、平和推進課から以下のメールが来ました。「伝承者が証言者との伝授ミーティングにおいて、また、家族伝承者が家族である被爆者との間において、対話を行った上で作成した講話原稿を、平和推進課が被爆者証言ビデオ等の資料等によって、証言者等から「直接伝承を受けた」ものであると認めることができる場合には、証言者等が逝去等したときでも、研修を継続する取扱いとする」これにより、被爆証言者の思いが少しでも伝わっていくようになって欲しいと思います。

子供の頃から母の被爆当時の証言を何回も聞いてきましたが、92才の母の記憶は薄れつつありました。まず、子供達(姉、私、弟、妹)が以前から今まで書き留めていた、母から聞いた被爆体験をかき集めました。それを原稿に起こしましたが25枚分の内、わずか8枚程度であり、当初、私は家族伝承者になれるのだろうか?と、不安に思いました。8枚を膨らませようと、母に当時のことを詳しく聞くために、私は毎週末に広島市己斐上の実家や喫茶店で、母に話を聞きました。1日一緒にいて、母の記憶を引き出そうとしているうちに、今まで聞いたことの無い事実を、母はぼつりぼつり思い出して言うことがありましたが話の内容はあまり広がりませんでした。今回は、学徒動員作業で亡くなった母の従姉妹くみちゃん、動員作業中に建物の下敷きになり避難してきた従姉妹としちゃん(くみちゃんの妹)のお話をします(原稿から一部抜粋)。

母が親しかった近所の1才年下の従姉妹で、14才で被爆死した山出久美子さん(くみちゃん)の話は、特に私の心に深く刺さり、くみちゃんの事を詳しく知りたかったです。くみちゃんは大人しい子で、いつも母が一方的に話しかける関係でした。よく自宅の縁側に遊びに来ていました。8月初め、二人で縁側に並んで座って話をしているうち、まもなく日が暮れました。とても星がきれいな夜でした。ふと、くみちゃんは「人はどうやって死ぬんじやろかね?」「人は死んだらどうなるんかね?」と母に問いかけました。母は答えられませんでした。くみちゃんは自分の死を覚悟していたのかもしれない。

くみちゃんは市立第一高等女学校(今の市立舟入高等学校:市女)2年生で、8月6日は爆心地から400mの材木町で建物疎開作業をしていました。動員されていた市女の1、2年生541人は、爆心地から400mのささぎるものが何もない場所で、熱線と爆風をまともに受けたため全滅しました。大半が即死で遺体はもちろぬ、遺品も見つけられなかった生徒がほとんどでした。市女の動員で亡くなった生徒は、他の場所も含めると676人と、市内の学校では最も多くの犠牲者を出しました。皆、一生懸命勉強して合格した学校に希望に満ちあふれて通ってしま



スライド1. 市女の原爆慰霊碑

スライド2. 原爆慰霊碑の全体像



スライド3. 慰霊碑の解説文の一部「山口県出身の彫刻家・河内山賢祐製作。国家の難に挺身した可憐な生徒達を「あなたは原子力(E=MC²)の世界最初の犠牲者として人類文化発展の尊い人柱となったのです」と慰めている姿をあらわしている。"中央の少女はモンペ姿でE=MC²を記した手箱を抱いている。両側の2人はスカートをはいてハトと花輪を持ち、昇天する少女を慰めている。被爆から3年後の1948年に、最初は母校校庭に建立された。当時は連合軍の占領下で原爆被害の事を表立って語りにくい時代であったため、関係者は慰霊碑ではなく平和塔と呼んで除幕した。アインシュタインの相対性理論の原子力エネルギーの公式E=MC²で、原爆を象徴的に表現した。1957年に現在地に移された。

た。平和大通りにある市女の慰霊碑にはくみちゃんの名前も刻まれています(スライド1-5)。



スライド4. 亡くなった母の従姉妹くみちゃんの名前も刻まれている。 スライド5. 名前を見て、くみちゃんを思い出す母(左)。

当時は男性達が戦争に行き労働力不足になり、中学生以上の生徒達が働いていました。その一つが、建物疎開の後片付けです。建物疎開作業とは、町が爆撃されて火事になった時、建物に燃え広がるのを防ぐため建物を間引きして破壊し空き地を作ることです。1945年7月、軍・県・市と校長達が学徒勤労奉仕の会議を開きました。校長達は爆撃があった時に避難できない危険な市内中心部での中学生の勤労作業を反対しましたが、陸軍中将が作戦協力を強く要請したため、やむなく学徒勤労員が決定されました。市女の校長は、「勤労作業は絶対休むな、休むと退学だ」と強く生徒に言いました。一方、広島高等師範学校附属中学の教員は、軍隊の指示に反発し市内中心部でなく、田舎での食糧増産目的の農作業に勤労する事とし、中学1年生240人を村に疎開させました。また比治山女子校の校長は、8月6日に、前日からの警戒警報や天候から、空襲の危険を感じ取ったのか、1・2年生300人の鶴見橋での建物疎開作業を中止し、教室で待機させました。しかし、このような判断をした学校はほんの一部で、多くの学校の生徒が原爆の被害に遭いました。広島では勤労学徒の約7200人が原爆で亡くなりました。うち約6300人は、建物疎開に勤労されていた中学1-2年生でした。

以下の記述の下線部は、後述の大叔母達の文集を参考にしました。8月7日から、くみちゃんの父親の勝美叔父さんは、材木町へくみちゃんのもんべの布の切れ端(父親の袴をほどいて作成)を持って、くみちゃんを探しに行きました。しかし、もんべをはいている人はおらず、ほとんどが裸で男女の性別も不明な状態で死んでいました。負傷者が運ばれた似島にも行きました。4日目に勝美おじさんは入市被爆の影響と思われる高熱・下痢のため1日休みましたが、翌日熱が下がったので再度探しに行きました。原爆投下後10日間、朝から夜まで市内の焼け野原の真ん中に立ち、ありったけの声を張り上げて「久美子ー。久美子ー。」と、わが子の名を叫びました。生徒達の消息はわからず、全滅だとあきらめました。おじさんは、その後も3年間、毎朝、通勤途中に、材木町の焼け野原に立ち、久美子さんの名前を叫んで出勤しました。母は、くみちゃんが亡くなる数日前に二人で一緒に星を見たこともあって、命のはかなさに大きなショックを受けました。くみちゃんの母親のヒサコ叔母さんは、その後、亡くなったくみちゃんの遺品である洋服を母に形見分けしてくれました。その洋服を見て、母は、仲の良かったくみちゃんを思い出して泣きました。洋服は、大事に着ました。下記は、大叔母が作ったくみちゃんを忍んだ歌です。

大叔母(近藤幸子)の歌集(続・閃光の丘から)からの抜粋:

この島に運ばれ死にしや学徒なりし久美子よ一夜潮騒を聞く
三年間の朝あさ瓦礫の街に立ち「久美子ー久美子ー」と叫びたる父
似島の秋しずまれり 勤員の学徒久美子の父もいま亡く
学徒の久美子いまだかえらず似島の渚に青き石ひとつ拾う
学徒なりし久美子のやさしき顔頭ちて嘆きあらたなり三十三回忌

当時、母は母の祖父母、弟、千葉から疎開してきた母の叔母家族(叔母、いとこ3人:0才女、3才女、4才男)の8人で住んでいました。母の父は病死、母は用事で実家に戻っていたそうです。幸いなことに、いとこ達3人は現在健在で、母の家の

近所に住んでいますので、私は母・母と同居する妹の3人で、いとこ3人が集める家に行き、当時の話を聞きました。原爆が投下した時に15才の母が背負って子守りしていた乳児は、同居していたとこだとわかりました。叔母(私の大叔母)は平和活動に熱心で、S35年からの母親学習グループで、戦争から子供達を守るために皆で手記を書いていました。私は、大叔母の被爆体験記が掲載されている文集「あさ」や、大叔母が出版した詩集「閃光の丘から」、新日本婦人の会広島県本部編の「木の葉のように焼かれて」等(スライド8)の資料を拝借し読みました。母は以前から以下のような話をしていました。“爆心地から1.7kmの鶴見橋付近へ建物疎開作業に出っていた中学2年生の弟が8月6日に帰宅しないので、夕方、己斐橋まで弟を捜しに行った。しかし、ソロソロと街の中心部から橋を渡ってくる全身をやけどした幽霊のような人々に会い、地獄だった。母は怖くなって、橋を渡りきらずに途中で引き返した。帰りに、顔を怪我で血まみれになったいとこの小学4年生敏子ちゃん(としちゃん:くみちゃんの妹)が川の上流方向から歩いてくるのに出会った。「としちゃん、あんたととしちゃんねー?」と聞くと、としちゃんはうなずき、ほっとした表情を見せた。彼女を背負って家まで連れて帰り、としちゃんの母親に引き渡した。”私は、近所の己斐小学校4年生のとしちゃんが、何故、川の上流方向から坂道を下って歩いてくるのかわかりませんでした。己斐小学校からの帰りならば下流方向から坂道を登って来る筈だったからです。母に聞いても答えられませんでした。大叔母の記録では、としちゃんは、近所の己斐小学校ではなく疎開して来る前に通学していた三篠小学校の作業所で勤労奉仕作業をしており、爆風で建物が倒壊して下敷きになったが、自力で這い出し、生存している児童達と一緒に山へ避難し、その後、夕方になって疎開先の自宅へ一人で帰ったということでした。その途中で母と会ったそうです。本に書いてあったこの記録と、母が言っていた言葉がやっと結びつき、大叔母の記録に大変感激しました。



スライド6. 大叔母が書いた歌集「閃光の丘から」(続・閃光の丘から)、と大叔母の似顔絵(大叔母の二女:母の従姉妹の新井邦子さん[被爆当時、母が背中に背負って子守りしていた赤ちゃん]作)



スライド7. 続・閃光の丘からの挿絵。己斐の裏山から見た原爆のキノコ雲。大叔母の長男で母の従兄弟の近藤秀昭氏の作品。

スライド8. 大叔母達が書いた原爆体験記「あさ」、「木の葉のように焼かれて」

1回目の発表では、10000文字の原稿を必死に読み上げるのが精一杯でしたので、2回目は顔を上げて、児童に語りかけるような大きな声でゆっくり話す様に、指導を受けました。家族伝承者になれるように頑張りたいと思います。被爆者の母に代わって、私はその被爆体験を語り継ぎます。そして、私の子供の世代が更に語り継ぐにはどうしたらいいか、考えていきたいです。

2023年8月6日

連載
No.34

人間の尊厳と自由

失われた時を求めて

ふくやま芸術文化ホール
リーデンローズ館長

作田 忠司

東京出身、上智大学文学部哲学科卒、
パリ留学後大手音楽事務所
のゼネラル・プロデューサー等を経て
2018年から現職、ばらのまち福山国際
音楽祭実行委員長兼務

この連載も早いものでかれこれ3年目をむかえます。そろそろネタも尽き、これまでの連載に私の気ままな素人談義の程、どれだけ皆さんに伝わりましたでしょうか。ともすれば小難しく、この紙面では少し異質な、人文系ならではの観念が空回りをした背伸びをした雑文であったのかもしれませんが。しかしそうした身振りも浅学な素人だからこそその所業で、気の向くままの筆致や意味不明なお題にすがり読者を煙に巻くレトリックを、賢明な読者諸兄はとっくにお気づきになられたことでしょうし、ここではFMC誌でこれまで労を取っていただいた関係者にこそ、この自由を許していただいた感謝を伝えることが王道でありましょうか。

※

さて、素人でしかも私は後期高齢者になります。いわば老人です。もうすぐこの世界から退場する日も近いとなると、ひとは自らの望郷に追憶の時間を過ごすことも多くなります。今までの体験やら経験を反芻したり甦らせたり、今は立派なビルが立ち並ぶ街並みの変貌に、〈半眠半覚の夢〉の中(ウトウトと昼間でも仮眠する老人。この言葉を作家埴谷雄高ご本人から以前お聞きしました)、いわば〈失われた時を求めて〉しまうというのでしょうか。ブルーストのマドレーヌのひとかけらの夢幻が、私たちの人生なのでしょう。

老人たちがこうした甘美なまでの追憶に浸るなか、俄然、いっぼうではこの世界に怨嗟の声を上げてしまいます。キレル老人たちの生態です。「今の世の中こんなことが許されるのか!」「へんだろ!」と怒る。この老人たちの世界に向けられた追憶と怨嗟の両極の生態は、ある意味、脳機能の退行のひとつでしょうが、そこには両者に共通した、いわば思想的ともいえる課題があるように私には思えます。それは人が人である〈尊厳〉や〈自由〉は、何によって担保されているのかとのアポリア(難題)です。

私が高校大学時代哲学的な関心は、当時のフランス哲学界の雄サルトルを中心とした実存主義でした。サルトルの難解な著作がまるで流行本のように出版されました。それは終戦直後ベストセラー『善の研究』(西田幾多郎)を

彷彿とさせる事態です。終戦の人々の知的飢餓をいやしたのでしょうが、1960年代もまた、戦後と地続きの復興の時代だったのかもしれませんが。

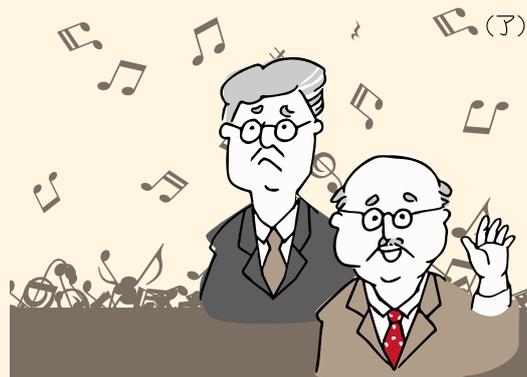
その実存主義の要諦はひとことで〈ヒューマンズム〉と〈自由〉への省察ではなかったでしょうか。人間主義的な推移でサルトルの思想は展開されているように私には思えます。

そして現代、この大きな思想的な人間主義的潮流は人々に膾炙され流通していきます。巷では、企業も個人も国家や政治も異口同音に人間の大切さを強調し、「人に優しい」「人権の尊重」との標語が、常套形容詞のようです。人間ファーストのこうした主張は、明らかに戦後に産み落とされた誰もが疑うことのできない思潮として君臨してきました。

しかし、二十世紀後半から次世紀にかけてのデジタル時代の幕開けから、飛躍的に進歩した様々な知見が投入され、私たちの知的インフラのヒューマンズムが、標語以上の意味や価値を持たなくなってきたのではないのでしょうか。企業も政治も本音ではどこか無定見な態度を取り続け、ちょうどそれはサルトル哲学から以降のフーコーやら人類学者レヴィストロースの構造主義、哲学者デリダ、ドゥルーズと変遷していく哲学の展開に似ています。また近年襲撃的であった人類史が新たな地層時代を迎えたとの「人新世の哲学」には、むしろ明確な人間中心主義から逃れる時代の要請すら感じとれます。私たち人間はたかだか200万年前に登場した新参者で、この地球に住まわせてもらっている生命体のひとつに過ぎないということですよ。

ここまででお分かりいただけたでしょうか。あの老人たちは皆、人間主義的に反応しているのです。私たちがこうして生きて経験し体験してきたこと、また自らがかけがえのない個人であること、それをないがしろにして何が効率だ進歩だという具合です。

明らかに「人間存在」の意味が現代では劇的な変貌を遂げている今、人間の価値「尊厳」や「自由」をどう考えたらいいのでしょうか。



連載
34

映画への誘い

キャロル・オブ・ザ・ベル 家族の絆を奏でる詩
(2021、ウクライナ、ポーランド)

1939年1月、ポーランド領スタニスワフ(現ウクライナ)。ユダヤ人一家が暮らす家に、ウクライナ人とポーランド人一家が越してくる。それぞれ同じ年頃の娘がいた。当初はよそよそしかった彼らだが、ウクライ



ナ人の母ソフィア(ヤナ・コロヨーヴァ)が子供たちに行う歌のレッスンを通じて、距離を縮めていく。

1939年9月、ソ連の占領下になったスタニスワフ。ポーランド人は迫害され、ポーランド人一家は、軍人の夫だけでなく妻ワンダもソ連に連行される。やむなく彼らの娘テレサはソフィアが育てることになる。

やがて1941年、独ソ戦が始まりポーランドがドイツに占領されると、ユダヤ人夫婦は収容所へ送られる。夫婦の二人の娘ディナと幼いタリヤもソフィア達が面倒をみざるを得なくなる。

そして1944年10月、ドイツが敗北し、再びソ連の占領下におかれると、レジスタンスと見做されたウクライナ人一家にも悲劇が襲う…。

物語は、歌手として成功した子供たちの一人、テレサがいる1973年のニューヨークと戦時下のスタニスワフを行き来しながら、ウクライナ人の妻ソフィアを軸に描



高橋 齋

挿絵 岡本 誠

かれていく。

長い戦争の中で、ソ連軍、次にナチス・ドイツ軍、再びソ連軍と統治者が変わり、そのたびに粛清の対象が変わっていく。最初は、ポーランド人、次にユダヤ人、最後にはウクライナ人が被害者となっていく。

そんな中で、ウクライナ人の母ソフィアは、同じ家に住む親たちが、シベリア送りになり、ナチスに捕らえられる中で、娘たちを引き取り、どの子も自分の子と同じように愛情を注ぐ。最後は、取り残されたドイツ人の子さえ、親の罪は子には関係ないと守り通そうとする。

しかし、命を懸けて子供たちを守って来たソフィアもまた連れ去られてしまうのだ。

今現在も続いているロシアによるウクライナ侵攻。第二次世界大戦時、ソ連、ナチスに侵攻されたウクライナにおける理不尽な惨事は、今も繰り返されている。

To Leslie トウ・レスリー
(2022、アメリカ)

テキサス州西部で暮らすシングルマザーのレスリー(アンドレア・ライズボロー)。宝くじに高額当選するが、全てを酒代につぎ込み、13歳の息子を置いて消えてしまう。

6年後、故郷を離れてひとりで暮らしていたが、家賃が払えなくなり、強制的にアパートを退去させられる。行き場を失ったレスリーは、置き去りにした息子ジェームズ(オーウェン・ティグ)を頼るしかなく、彼のアパートへ転がり込む。

酒だけは飲まないよう息子に言われていたが、レスリーはすぐに約束を破り酒に走ってしまう。息子からも追い出されたレスリーは、生まれ故郷へ戻り、かつての友人ナンシー(アリソン・ジャネイ)とダッチ夫婦の家に

転がり込む。

きつい言葉をあびせられながらも、二人の家に身を寄せるしかないレスリー。だが、夜な夜な酒を飲み歩き、その家からも閉め出されてしまうのだ。路上で寝ることになったレスリー…。

物語の序盤から中盤は、レスリーの駄目さ加減がこれでもかと描かれる。6年後に会った息子との生活でも、酒を手に入れるためには息子のお金を盗み、平気で嘘をつき、息子の同居人のお金まで盗む。

絶対帰りたくない故郷に帰されたレスリー。過去を知る街の人たちは皆冷たい。頼りにした昔の友人夫婦からも愛想をつかされる。どうしようもないレスリーに観客も辟易する。

そんな時天使のように舞い降りたのがモーテルの共同経営者スウィーニーだった。得体の知れない男だが、なぜか優しい。レスリーに何かと手を差し延べる。他

者の優しさに接するうち、レスリーも立ち直ろうと一歩を踏み出す。

モーテルでふてくされているレスリーにスウィーニーは言う。「たとえ、間違っても、やり直せない人生はない」。

アルコール漬けでろれつが回らない時の顔、素面の時の顔。その顔にレスリーの迎って来た人生を刻み付けたアンドレアの演技が秀逸。



君たちはどう生きるか (2023、日本)



物語の舞台は、第二次世界大戦下の日本。母親を火事で亡くした11歳の少年・牧真人は、父親に連れられて田舎の屋敷へ移り住む。そこには母親と瓜二つの父親の再婚相手である母の妹ナツコがいた。

母を亡くした悲しみや、田舎の子供達からのいじ

めなど、新しい環境にも馴染めず、真人は苦しみ孤立していた。いじめっ子に詰め寄せられた真人は、自ら石で頭を傷つけてしまう。

そんな真人に対して、屋敷のそばで暮らす青サギが、おかしい挙動を見せ始める。青サギに誘われるように屋敷の近くを探索していた真人は、失踪した大叔父が建てた廃墟同然の塔を見つけるが、召使の婆やたちに入ること止められる。

そんなある日、ナツコが行方不明になってしまう。森に入るナツコを見かけた真人は、ナツコを追って老婆・キリコと一緒に塔へ入っていく。塔の中で真人は青サギ男に導かれ不思議な世界へと落ちていくのだった…。

戦時下、母を亡くした少年が、疎開先で様々な体験をしながら、地上世界(現世)と下の世界(異世界)で、自分を見つめなおし成長していく冒険ファン

タジー。

物語の中盤で、母が残した小説「君たちはどう生きるか」を読んだ真人は、涙を流す。今まで、喪失感を抱き、鬱屈した気持ちで塞ぎがちだった真人が、前を向いて進もうと変わってくる。真人は異世界を経験することで現実世界を受け入れていくのだ。

観客は、不思議な世界をさまよう真人と共に、戸惑いながら異世界へ入っていくことになる。

アオサギとは何者なのか?塔とは何か?大叔父とは何者か?インコの正体?ペリカンとは?わらわらとは?神隠しとは?ナツコは何故森の中へ消えたのか?産屋とは?若い頃の母ヒミとは?若い頃のキリコとは?13個の積み上げられた石とは?

2013年の「風立ちぬ」を最後に引退表明していた宮崎駿監督が、引退宣言を撤回し、10年ぶりに新作を発表した。

世界の病院から 連載119 Hospitals around the world

台湾の病院見聞記(シーズン2-③6)

高雄醫學大學および附設中和紀念醫院(その9)

VIP病棟、検査部門

Kaohsiung Medical University & Chung-Ho Memorial Hospital(No.9)

VIP Zone & Laboratory Section



埼玉学園大学
経済経営学部 教授
福永 肇
Hajime Fukunaga

高雄醫學大學附設中和紀念醫院の見学が続いている。大きな大学病院(2,002床)なので、とても全てで紹介仕切れない。今回は病棟最上階の22階で見たVIPゾーンと検査部門を中心に紹介したい。

■ VIP病棟



写真1:最上階22階はVIPゾーン。B1から22階の間を昇降するエレベーター(日立製)はB1停まりであるが実際の建物はB4まである。

エレベーターで病棟最上階の22階に向かう(写真1)。日本の病院には22階はない(東京医科大学病院の最上階が19階、東京医科歯科大学病院は17階、東大病院15階)。写真1ではエコー機器が廊下を移動している。これ珍しい。病室に向かうようだ。エレベーターの籠(かご)内には禁煙マークが貼られている。台湾は喫煙に対してのルールが厳しい。違反への罰金も高額だ。2009年に「菸害防制法(タバコ煙害防止法)」が施行され、エレベーター内は全面禁煙に指定されている。ところでエレベーター内でタバコを吸う人は本当にいるのだろうか。些(ち)と考えると、elevatorの訳に、日本人は「昇降機」、「エレベーター」の文字を充てた。台湾人は、最初は「流籠」と翻訳し、次に「電梯(電気で動くハシゴ)」へ改称した(エスカレーターは「自動扶梯」)。台湾人の語学センスは秀逸で、見事だ。computer ⇒「電腦」、pool⇒「泳池」の翻訳例もある。さすがは漢字のご本家である。



写真2:E棟22階(最上階)の「特等國際病房」。

E棟(啟川大樓)の21階、22階(最上階)はVIPゾーンで、21階に「南杏病房」、E22-N棟に「特等國際病房」、E22-S棟に「産後親善病房」と「高杏門診」があった。なおVIP向け人間ドックは別棟の健檢大樓の4階(最上階)で見た。富裕層はどこでもいつでも最上階が好みのようだ。写真2の「特等國際病房」の入口に「高大國際醫療サービスセンター」という日本語が見られる。重厚な繁体字の国で見かけたカタカナ文字は軽佻浮薄に思えた。カタカナは文字通り漢字の文字の片方だけの「片仮名」略記という出自なので(例:阿⇒ア、伊⇒イ、宇⇒ウ、江⇒エ、於⇒オ)、由緒正しき本家本元の繁体字漢字群に対しは薄っぺらく、見劣りしてしまう。しかしそれは仕方がない。可哀そうだがカタカナは少し情けない。



写真3:「特等國際病房(高大國際醫療サービスセンター)」。病房差額(差額ベッド代)は8,800~11,000元(≒30,800~38,500円。1元≒3.5円)となっていた。



写真4:22階エレベーターホール。「産後親善病房」と「高杏門診」へのゲート。



写真5:「高杏門診」。すなわちVIP外来。

E棟22階(最上階)には「特等國際病房」と並列して「高杏門診」があった。「高杏門診」は特別対応外来、すなわちVIP外来のことである。高杏門診で受診する患者は専用電話を通じて指名した医師、教授から十分な診察や迅速な検査を受診出来る。病院スタッフのアテンドで診療、薬品処方、会計の優先扱いが行われるので、患者は診察や会計窓口、薬局の待合で長い順番待ちをしなくてよい。高杏門診の利用基本料金は1,500元(約5千円)であるが、診療報酬や薬品は一般外来と同じ公定価格である。

日本でも会員制メディカルクラブのメンバーに対して(当日を含む)外来受診での優先診察とか会計の月末一括払い(含む銀行口座引落)といった[名医による診察+待ち時間短縮サービス]を提供している病院がある。予約、受付、診察、会計、薬局での時間が大きくセーブできる。病院地下駐車場から専用の直通エレベーターで名医が待つ特別診察室に(誰にも見られることなく)直行して診察を受けるコースもある。多忙、若しくは人に病院での姿を見られたくない会社役員や国会議員、芸能人、有名人の利用が多いようだ。

「高杏門診」の「高」は高雄醫學大學の高、「杏(あんず、アプリコット)」は杏林(キョウリン)から採られたのだと思う。名医の尊称に「杏林」がある。杏林大学とか杏林製菓の杏林である。「杏林」という用語には「木」という文字が3つ入っている。東京の神田駿河台に杏雲堂病院がある。明治15年(1882年)設立の老舗病院だ。病院の玄関横には大きな杏の木が植わっている、根元の解説板には次の文言が書かれていた(筆者要約)。「三世紀、三国時代の呉に董奉(とうほう)という医者がいた。彼は銭物を取る代わりに、病が癒えた後に軽症患者には1株、重病患者には5株の杏の苗木を植えさせた。数年で10万余本の鬱然とした杏の林となり、花は雲の如く咲いた」。董奉はその杏の実と交換した穀物を、貧しい人々に分け与えたという。このような伝話はいかにも東洋的で、西洋にはない。薄桃色の花で雲をなす杏林の景色は医者にとっての桃源郷であろう。杏が花咲く村と聞くだけで、一幅の南画のような景色が想像される。雲の如く杏の花に覆われる山里はシルクロードのフンザ村が有名であるが、台湾では台北郊外の猫空杏花林にて春に杏の花が咲く。なお理想郷は、西欧ではアルカディア、東洋では桃源郷だと私は理解している。どちらもユートピア(どこにもない国)であるので、実在しない。



写真6:医者アルカディア、「杏林の村」のイメージ(長野県千曲市あんずの里)。信州千曲観光局のサイトより転写。
<https://www.mtlabs.co.jp/shinshu/event/anzumatu.htm>

枝話を書いておきたい。杏林大学の創始者は1904年生まれの台湾人の曾進ユウ(「ユウ」はマ+用+力。日本名:松田進勇)。東京帝大医学部を卒業後、台湾中南部雲林県の斗南小学校の教師をしていた。その後日本に移住し、1948年に日本大学教授。1966年に衛生検査技師を育成する杏林短期大学を創設。1970年に杏林大学医学部を開設した。(あまり知られていないようだが)台湾医学における偉人の一人だ。杏林大学という校名から浮んでくる淡彩画的な情景の美しさは桜美林大学のそれに並ぶ。なお、桜美林大学の英語名はJ. F. Oberlin Universityで、由来はフランス人牧師の名前 Jean-Frédéric Oberlinから来ている。



写真7:産後親善病房(Postnatal Health Promotion Center)。バックのピンクの花は杏子(唐梅)であろう。

「産後親善病房」は、多分、産後間もない赤ちゃんと母親が24時間寄り添って過ごせる産後ケア専用の個室病室であろう。この病房の設置場所が「特等国際病室」や「高杏門診」と同じE棟最上階(22階)のVIPゾーンであることから、対象にしている患者層が推察できる。「世界の病院から No.103(2022. May)」にて台湾の「産後護理之家(Postpartum Nursing Center)」に触れている。台湾には「坐月子(ズオユエズ)」といわれる文化があり、出産数日後に病院を退院した後、産後ケアサービスを行う施設に母子ともに入所して1か月間をゆっくり過ごす。看護師がいる施設が「産後護理之家」、いない施設が「月子中心」であった。「産後親善病房」は大学病院内の施設であるので、医師による何らかの医学的対応が行われるなど、「産後護理之家」や「月子中心」とは違った医療機能・目的を持つ施設かと思われる。なお英語“postnatal”は出産後、体が妊娠前の状態に戻るまでの産褥期間で一般的に6~8週間、“postpartum”は出産からその後の6週間の回復期間を指す用語だそう。

■ 院内各所の検査部署

検査の各部署は写真を中心に紹介したい。



写真8:検査服務櫃台(検査受付カウンター)。

写真8にある「検査」という用語は初めて見た。多分、今日の臺灣大学附設醫院検査醫學部臨床検査醫學科が、昔は「実験診断科」と名乗っていたからであろう。カウンターの背後は採血センターになっている。赤いチョッキを着た老婦人は医療ボランティア。台湾の病院では法律で医療専門職の免許が必要とされる医療行為以外へは医療ボランティアがドンドン入っている。日本の病院では看護師や事務職員が誘導・案内を行っている。



写真9:検査(=検査)醫學部の採血櫃檯(採血カウンター)。台湾では血を「採る」のではなく、血を「抽(ぬく)」「抽出の抽」ととても怖い。



写真10:映像醫學部のX光室(レントゲン撮影室)。台湾ではX線を「X光」という。



写真11:X光撮影室の前。

写真11のフロアに書かれた「請勿停留」は「立ち止まらないでください」。院内のどこにでもありそうで意外と見かけない。立っている病院スタッフは担当患者のレントゲン撮影終了を待っているのだろう。しかしどうしてスーパーのショッピングバスケットを抱えているのか? こういう光景に接するので、外国の病院見学はとても面白い。



写真12:電脳断層撮影(CT)の受付窓口。



写真13:婦人科系の無料検診の案内。

「好消息」は“Good news”の意味であろう。マンモグラフィ(2,000元≒7,000円)も無料検診になっている。検診への年齢制限はないようだ。台湾の検診支援は、凄い!



写真14:睡眠中心(Sleep Disorders Center)。



写真15:睡眠時無呼吸症候群(SAS)の検査室。敢えて窓がない。別の部屋にいる医療スタッフが夜中の観察記録を採る。



写真16:CPAP(シーパップ、持続陽圧呼吸療法)の機器。SASを防止する治療法だそう。

■ 連合サービスセンター

高雄醫學大學附設中和紀念醫院では各種診断書、病歴のコピー、影像資料の複製(CD・DVD)の申請を写真17,18のカウンターが申請を受け付けていた。これ程大規模な「文書受付」は初めて見た。



写真17:連合サービスセンター(聯合服務中心)。



写真18:①一般業務(転院、各種申請)、②領収書、証明書発行、③高齢/障害者(行動不便)に区別された番号発券機。パネルにタッチすると番号チケットが発券される。

(次回に続く)

連載
No.100

在宅医療の現場から

【志しかけて質高い医療をしていこう】

このコラムは、今回、おかげさまで100回目を迎えました。ありがとうございます。

今回は、100回記念ということで、当院の歴史を振り返ってみます。

当院の創設者である初代院長、猪原武二(夫の祖父)は、貧しい農家の4番目の子供として神辺町八尋に生まれ、小学校卒業と同時に丁稚奉公に福山に出されました。

その奉公先が、たまたま延広町にあった歯科医院で、そこで書生として苦学します。

その後、縁あって朝鮮にわたって歯科医師免許を取得。しかし終戦を迎えたため、着の身着のまま帰国します。歯科医師免許の内地への切替試験に合格し、昭和22年12月の開業に至りました。

アルコールにとっても弱い祖父でしたので、あまりお酒を飲むことはありませんでしたが、酔った時にはしばしば、干し大根のエピソードを泣きながら語っていました。

書生時代は苦学してひもじい思いをしていたため、実家から送られてきていた干し大根を少しずつ大切にかじって必死に勉強する日々。ある時、蛆虫が湧いてしまい、泣く泣く捨てるを得なくなったそうです。

この経験からなのでしょう、食べることに対する思いは誰よりも強く、日本が飽食の時代になってからも祖父は、歯を失い食べられなくなった人に、良い義歯を作って、思いっきり食べてもらう…、これを信念に、80歳を越えても現役の歯科医師であり続けました。

白いかぶせ物の歯である、メタルボンドを広島県で最初に導入したのも、おそらく祖父です。とある高名な先生が南カルフォルニア大学から日本に帰国された直後のセミナーに参加するため、東京まで夜行列車で勉強に行き、そのまま電気炉を購入して抱えて帰ってきたそうです。祖父の意思を継ぎ、その後も当院には歯科技工所が併設されています。

現在当院には4名の歯科技工士が志を継いで高い質の歯科技工物を作っています。

晩年は、ベッドに寝たきりになってしまいましたが、祖父が亡くなる3週間前に、私たちは結婚式を挙げ、私はウエディングドレスのまま、なんと入院先病院の病室を訪問し、結婚の報告をしたのを今でも覚えています。祖父が差し出してくれた力強い握手と温かさ。

これからも祖父の志を継いで、質の高い医療を心を込めてしていきたいと思います。



訪問診療部 部長
歯科医師

猪原 光

医療法人社団 敬崇会

猪原歯科

リハビリテーション科

〒720-0824

広島県福山市多治米町5丁目28-15

TEL 外 来/084-959-4601

訪問部/084-959-4603

FAX 外 来/084-959-4602

訪問部/084-959-4604





J.S.A. ソムリエ

日本酒の
ソムリエ 唎酒師

SSI 認定 国際唎酒師

No.27

SSI認定国際唎酒師
J.S.A.ソムリエ

宮岡 瞳

SAKE Freak

【秋よ、来い】

皆さまこんにちは。国際唎酒師・ソムリエの宮岡です。実りの秋というには、まだ暑い日が続いていますが、少し秋を感じたい今日この頃です。8月の末頃から、『ひやおろし』、『秋あがり』と冠がついた日本酒が店頭に並び始めました。夏の涼しげなラベルと打って変わって、落ち着いた色のラベル。体感はまだ夏ですが、徐々に秋に向かっていくのを感じます。

「ひやおろし」とは、搾ったお酒を一度だけ火入れ(加熱殺菌)を行って、夏の間に熟成させてから出荷するお酒のことです。通常火入れは、日本酒は貯蔵前と出荷前の2回行われます。一方ひやおろしは、春に一度火入れを行い、貯蔵後は火入れを行わずに出荷されます。日本酒で常温を意味する「冷や」の状態では「おろし」ことから、「ひやおろし」と呼ばれるようになったと言われています。現代では冷蔵技術が発達したため、火入れを行わない生酒なども気軽に楽しめるようになりましたが、一度だけ火入れして熟成させたひやおろしは、江戸時代から秋の風物詩として親しまれています。

『ひやおろし』と『秋あがり』の違いについては、ほぼ同義としてされていますが、「秋あがり」というのは厳密に言うとお酒の種類ではなく、お酒の状態を指す言葉です。春に搾ったお酒が一夏を越えて、旨味が上がった状態を「秋あがり」と呼ばれています。現代では、きっと『秋あがり』のお酒ばかりと思いますが、逆に熟成がうまくいかず

美味しくならなかったお酒の事を『秋さがり』と言われているようです。

『ひやおろし』は、様々な温度帯が楽しめるお酒です。しっかり味を楽しみたい場合は「燗酒」。私のおすすめは、40-45℃程度のぬる燗です。秋刀魚やキノコ類など秋の食材と食べると、ほっこり…。もちろん、常温や冷酒でも美味しいです。お好きな温度帯を探してみたいかたがでしょうか？

Design
#80

「伝わるデザイン」

||| MOURI DESIGN

毛利 祐規 / グラフィックデザイナー

【Profile】大阪、東京のデザイン事務所勤務を経て、2011年に独立。福山市を拠点に、全国の企業やお店、ブランド等のロゴマーク制作と、それに伴うブランディングやブランド戦略、プロモーション等を専門に手がけています。



みなさまこんにちは。グラフィックデザイナーの毛利と申します。私は福山市を拠点に、全国の様々な分野のデザインを手がけさせていただいています。そんな中でも最も多く手がけているのは、企業やお店、ブランドなどの立ち上げやロゴマーク制作からたずさわるような「ブランディングデザイン」です。私が手がけた仕事等を通じて、経営におけるデザインやブランディング、ブランド戦略、プロモーションの大切さや効果などをお伝えしていきます。

■ 機能するデザイン

今回ご紹介させていただくのは、あるお寺の紅葉イベント(ライトアップ)のロゴデザインです。「お寺」と「紅葉」をアイコン化し、それをそのままロゴとして展開していきました。こういったデザインは、主に以下のような意図から生まれています。

- 視認性が高く、記憶しやすいこと
- 海外の方でも、見てすぐわかること
- 看板やポスター、グッズや Web など、様々な媒体への展開性が高いこと
- 多くの方に親しんでもらいやすいデザインであること
- お寺のイメージを損なうことのない、品の良いデザインであること

上記のこと以外にも、いかに多くの方にわかりやすく情報を伝えるか、いかに伝わる内容にするか、どう伝えるか、などを考えながら、機能するデザインへと仕上げています。



Touring Journey



経営企画係
中島 正勝

草戸千軒町遺跡の紹介とInsta360を買ってしまった話

福山市で有名な観光名所と言えば「鞆の浦」か「福山城」だろう。だがしかし、福山を語る上で忘れてはならないのが、古墳や遺跡の数々なのだ。以前、このFMCで福山市の古墳を巡った話をしたことがあるけど、福山は結構な数の古墳や遺跡がある。混同されがちだが「古墳」とは、古代の墓のことで「遺跡」とは古代の建物や事件などがあった跡や古代の人間の生活の跡のことだ。ちなみに、歴史的イベントと関わりが深い場所や建物・遺構を史跡と指す事もある。

マサカツくんは古墳や遺跡の類いが大好きなんだけど、福山に観光で来たのに古墳巡りをする人なんて殆どいないよね。だって興味のない人から見たら単なる石積みや小高い丘だもん。しかも、大体が不便な場所にあるんだわこれが。まあ、アクセスや見た目を考えたら福山市駅家町にある二子塚古墳(大型前方後円墳)しか推しが無いのも事実。で、古墳の話はこれ位にして、福山の代表的な遺跡であり観光スポットと言えば「福山城」なんだけど、鎌倉時代から室町時代にかけておよそ300年間存在した都市(大規模集落)の遺跡があるんだ。えっ、建屋の無い「跡地」には興味ない。ん、不便なところは勘弁してよだって。おおい、そんな寂しい事言わないでよ。ってことで今回はこの遺跡の紹介だよ。

1. 草戸千軒町遺跡

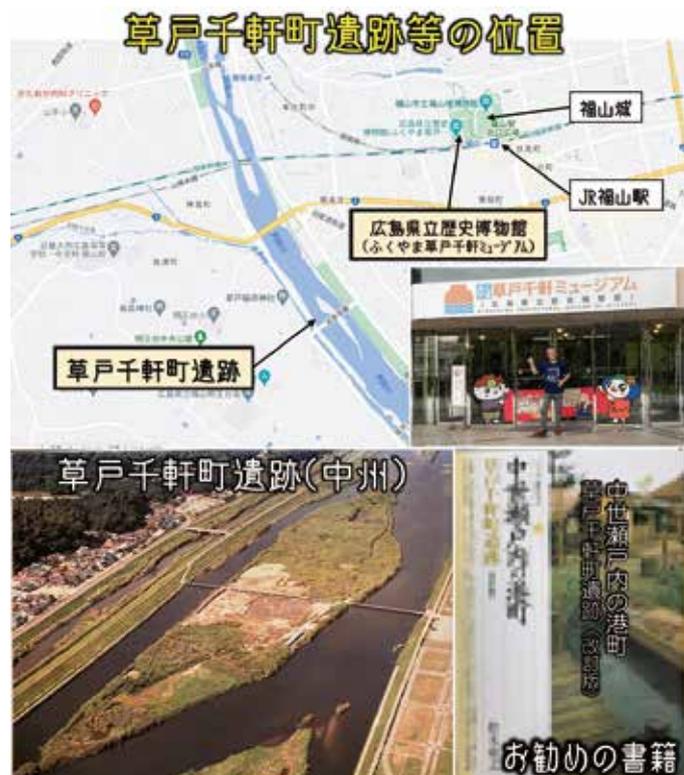
福山市の歴史的建造物(遺跡)と言えば、知名度も人気も圧倒的に福山城なんだけど、同じくらいに知ってほしいのが「草戸千軒町遺跡」という都市遺跡だ。その「草戸千軒」の由来だが、江戸時代の中頃に備後福山藩士・宮原

直仰によって書かれた地誌『備陽六郡志』の中に、「草戸千軒という町があった」という伝承が記載されていたことから名付けられたもので、町についての様子が具体的に書かれていなかったため「幻の町」といわれていた。ところが、1930年前後の(芦田川の)河川工事によって遺物が出土、戦後の1961年から約30年間にわたり断続的に行われた大規模な発掘調査でその全容が判明する。この町は、鎌倉時代から室町時代にかけておよそ300年間存在した大規模集落の一つだったらしく、遠くは朝鮮半島や中国大陸とも交易していたと見られているんだって凄いやね。なお、町が滅んだ理由は諸説あるようだが、川に沈んだ(或いは意図的に埋められた?)とされる時代には「何らかの理由で放棄」され、既に都市として機能していない状態だったらしい。発見された場所は草戸稲荷のすぐ側の芦田川の中州だった。

2. 広島県立歴史博物館(ふくやま草戸千軒ミュージアム)

ところで、この遺跡に対する福山市の扱いは、(場所的に仕方ないんだろうけど)事実上放置プレー状態となっている。残念なことに福山市の殆どの古墳がこれに近い(が逆に古墳らしくして良い?)。その癖、市のホームページでは「福山市古墳ロード」とかやっているのだから(マサカツくん的には)不自然さを感じている。って事で、現地に行っても悲しくなるだけなので「聖地巡礼」はお勧めはしない。一応、地図は貼っとくけど。

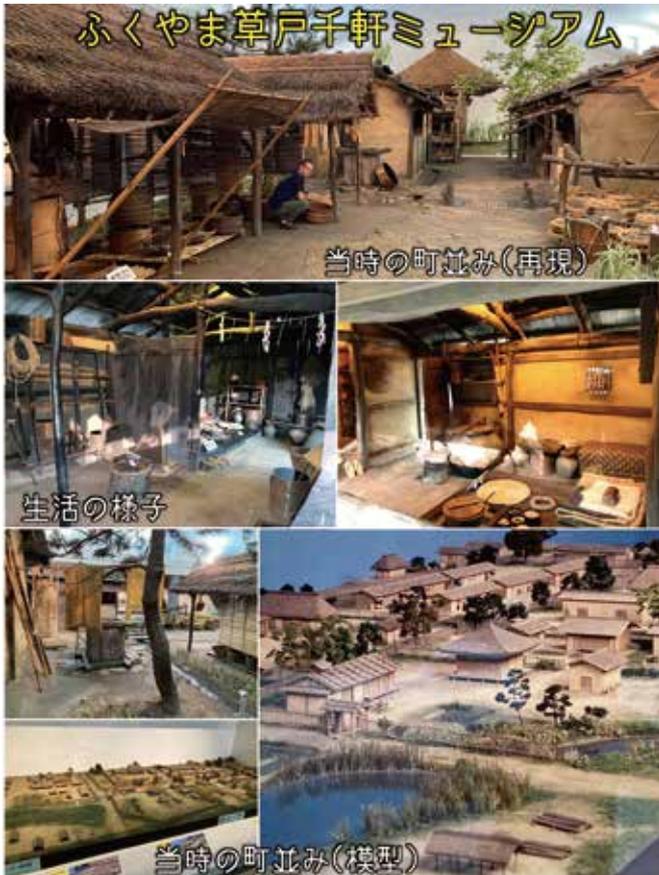
だが、ご安心あれ「広島県立歴史博物館(ふくやま草戸千軒ミュージアム)」で当時の姿が再現(常設展示)されているのだ。今回は、此処を(読者に)紹介するため十年ぶりくらいに当館を訪れてみた話だ。来館したのは9月のとある土曜日、開館(9時)と同時に入場したからなのだろうが来訪者は自分の他には1人のみ。一時間程見学した後、帰りに一人(男性)が入館して来たけど、う〜ん、人気ないのかなあ此処って。この常設展示は勿論、その他の歴史的な展示物を含め絶対に面白いと思うんだけどなあ個人的には。まあ、デートするなら福山城だとは思うよそりゃ〜ね。けどさあ、これ読んで福山を訪れる機会がもしもあったなら、福山城だけじゃなくてコッチも訪れて欲しいなあ。福山城の隣だし、駅前だし、入館料は一般290円(高校生までは無料)とリーズナブルだしさ。



1. 草戸千軒町遺跡等の位置「協力:広島県立歴史博物館」



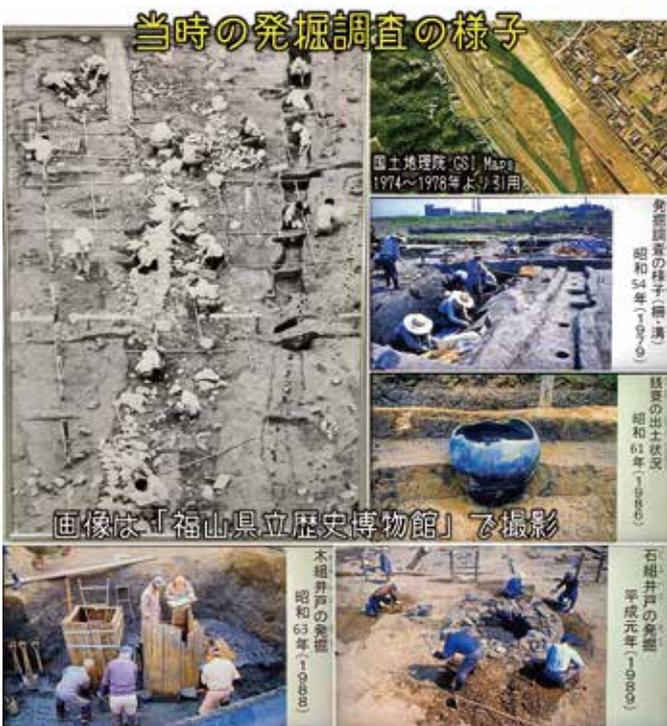
2. 現在の草戸千軒町遺跡



3. ふくやま草戸千軒ミュージアム「協力:広島県立歴史博物館」

3. 草戸千軒町遺跡発掘の様子

令和5年に草戸千軒町遺跡調査研究所開所50周年を迎えるのを記念して、研究所の活動を同館1階エントランスに展示している。こちらはなんと「無料」だ。マサカツくん的には常設展示よりも発掘調査の方が興味あるんだけど、その発掘の様子も2階のシアターで詳しく説明されているから、出来たら入館料を払ってすべての展示物を見て貰いたいんだけど、じっくり見学するとなると一時間では終わらないんだよね。なのに駐車料金は1時間しか無料にならないようだし、このあたりはちょっと考慮して欲しいかなと思ってしまったよ。



4. 当時の発掘調査の様子「協力:広島県立歴史博物館」

4. YouTuber御用達、Insta360 x3をついに購入した件

いや～、とうとう買っちゃいました「Insta360 x3 バイク撮影セット」。イヤね、バイク絡みのYouTubeを見てた嫁さんが欲しがったんですよ。自分じゃ無いですから。でも、これホント凄いかメラだわ。自撮棒を使えばまるでドローンや第三者が撮影したみたい映像が撮れるもん。仕組みとしては同時に360度を5.7Kで撮影しているので、後からあそこを撮っておけば良かったって「撮影漏れ」が無いんだよね。だから、ドライブレコーダーとして使えば最強かも。問題点としては、やっぱり画質はそれほど良くない。だって、360度で5.7Kだから、正面だけの4Kよりは画質が落ちるんだわさ。んで、当然だけど時間あたりの必要メモリが半端ない。512GBのSDカードで約8時間しか撮影できないうえに、SDカードは「UHS-I V30」が必要なのでちょっとお高い。でもね、そんなネガティブ要素がふつ飛ぶほど面白い映像が撮れるんだよ。写真は、性能テストのため「しまなみ海道」を原付でツーリングした際の映像だけど、後ろの自撮棒が全く映ってないから、まるで上空から撮影したような映像がとれた。うん、これは今月末の東北ツーリングに大活躍してくれそうな予感がする。



5. Insta360 x3をついに購入した件

5. 終わりに

最近のテレビ番組がつまらない。バラエティはマンネリだし、報道番組はスポンサーや身内には「報道しない自由」を発動するしで、テレビを見る事がホント少なくなった。そんな中で最近ではYouTubeをよく見ている。特に気に入るのが、安芸高田市公式チャンネルとその市長がらみのチャンネルだ。知ってる人も多だろうけど正に「リアル半沢直樹」なんだよねこの人。マサカツくん惚れちゃったわ。議会で議論が成り立たないもんだから「頭の悪い人は具体的な議論のポイントが示せず、示せない代わりに相手の態度を批判し始める」とか「国語力がない」とかド直球の発言するんだわ。実際、これ学級会じゃなくて議会なんだよなあ～って程、低レベルで呆れた内容だったけど。政治的な発言になるのでこれ以上は書かないけど、下手なバラエティ番組より遙かに面白いからお勧めだよ。



「シイタケの肉詰め」



栄養士 堅田 咲紀

季節は秋を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は秋を感じられる食材シイタケを使ったレシピをご紹介します。

シイタケには不溶性食物繊維が含まれています。不溶性食物繊維は、水分を吸収し便のカサを増やすことで腸を刺激し、便通を促すはたらきがあります。またビタミンDの前駆体であるエルゴステロールも含まれていま

す。ビタミンDは脂溶性ビタミンであり、今回のレシピのように油と一緒に調理すると吸収率が高まります。

今回紹介するシイタケの肉詰めは料理の主役にもなる他、お弁当にもぴったりです。今回は甘辛いタレで調理しましたが、シンプルにポン酢をかけたたり、チーズをのせても美味しいです。様々なアレンジで楽しむことができます。ぜひお好みの味付けで作ってみてください。



シイタケの肉詰め(2人分)

材 料

- *シイタケ6枚(約90g)
- *豚ひき肉100g
- *玉ねぎ1/4個(50g)
- *卵1/2個(25g)
- *生姜チューブ小さじ1/4(1.25g)
- *塩、コショウ少々
- *薄力粉適量
- *料理酒大さじ2(30g)
- *醤油大さじ2(36g)
- *みりん大さじ2(36g)
- *砂糖大さじ1(9g)
- *サラダ油適量

栄養価(1人分)	
エネルギー	295kcal
たんぱく質	13.7g
脂 質	15.0g
炭水化物	23.1g
食塩相当量	2.7g

A



作り方

- ① シイタケの石づきを取り除き軸を切り落とす。
- ② 1で切り落とした軸、玉ねぎをみじん切りにする。
- ③ ボウルに2、豚ひき肉、塩、コショウ、卵、生姜チューブを入れて混ぜ合わせる。
- ④ シイタケのかさの内側に薄力粉をまぶす。
- ⑤ 4に3を詰める。
- ⑥ フライパンにサラダ油をひき、5を肉だねを下にして並べる。
- ⑦ 焼き目がついたら裏返し、蓋をして火が通るまで蒸し焼きにする。
- ⑧ 肉だねに火が通ったらAを入れて煮詰める。
- ⑨ 全体に味が馴染んだら完成。

ヒノキ(ひ)

卷13-3232



檜の実と
ホオジロ(野鳥)

万葉の花と歌

「歌の大意」

斧取りて 丹生の檜山の 木こり来て
筏に作り ま梶貫き 磯漕ぎみつ
島傳ひ 見れども飽かず み吉野の
瀧もとどろに 落つる白波

斧を取って、丹生の檜の山の木を伐って来て
筏につくり、両側の梶をつけ、磯を漕ぎめぐりながら
島から島へとそひ行き、見ても飽くことがない。
吉野の急流をどろどろと流れ落ちる白波は。

万葉植物考

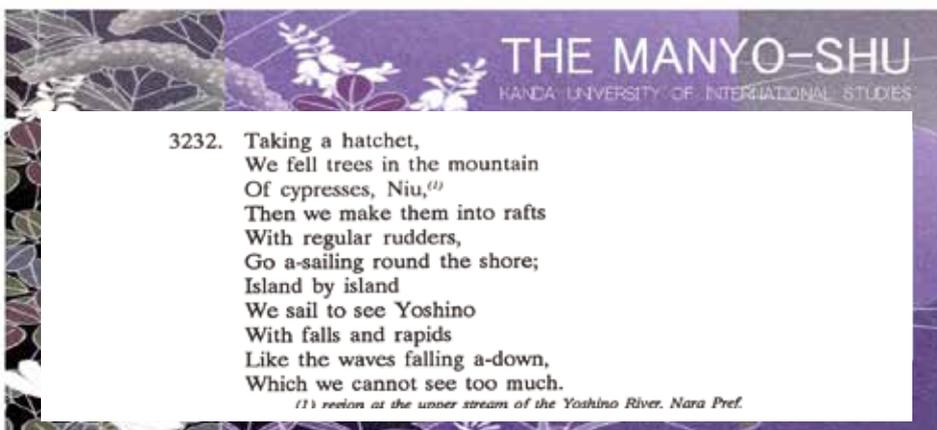
萬葉表記： 檜 ヒノキ科 ヒノキ属。

ヒノキは本州福島県から九州屋久島に分布しています。中国語で檜というのはビャクシンのことでヒノキは日本特産であり、漢名はありません。

ヒノキには方言が多くアオキ(長野県)アサカバ(島根県)サワラ(青森県)ヒバ(岩手県)などの方言があり、サワラやアスナロの方言と混用されているところが多くあります。北海道の檜山地方は、松前藩のころから檜山奉行をおき良材を産出していました。これはアスナロの変種のヒノキアスナロで、野生北限地にあたっています。ヒノキ名の語源は「火の木」の意味だと言われています。古代にヒノキ材を棒でんでんで発火させたことによると言われています。伊勢神宮の豊受大神宮正殿奥に忌火屋殿(いむびやでん)があり、現在でも「舞錐式発火法」(まいきりしきはっかほう)で「御火霧具」(みひきりぐ)を用いて、火切り板にヤマビワの心棒を回転させて火を起こしています。その火は豊作や無病息災を願って用いられます。「忌火」は神道では清浄な火のことです。ヒノキは日本人の生活に関係の深い、高さ30メートル、直径1メートル以上になる高木になります。ヒノキはスギよりもやや乾燥に絶えるので山地の中腹に多く植林されています。古代の建築や遺跡の調査では宮殿や豪族の家にはヒノキ、庶民の家にはスギが用いられていたらしい。室町時代中頃までは建材を縦に引く製材用のノコギリはなく、板や角材は、オノやチョウナを使って打ち割り法でつくられていました。そのため広葉樹は利用しにくく、木の目の通ったヒノキやスギが多く用いられた理由です。ヒの現代名はヒノキで詠まれているのは10首です。歌のうち、巻向山、三輪山、羽生など大和路の地名が6首登場するほか、一首には田上山、淡海など滋賀県の地名が詠み込まれています。また柿本人麻呂歌集に収録されている巻七-1118の歌。檜原で(枝を折って)挿頭にするという情景の歌が存在することです。香気のある建材として最良です。

ままに斧取りて丹生の檜山の木こり来て
筏に作りま梶貫き磯漕ぎみつ
島傳ひ見れども飽かずみ吉野の
瀧もとどろに落つる白波

斧取而丹生檜山木折來而
嶋傳雖見不飽三吉野乃瀧動々
落白浪
作者不詳





音楽カフェの風景 その69

内科 村上 敬子

大田記念病院 脳神経外科専任部長 佐藤倫由先生より特別寄稿いただきました。

～言葉の芸術、音の芸術～【前編】

この夏、素敵なアーティストに巡り会うことができました。一つは、神田松鯉・伯山親子による「講談」。もう一つは、七條恵子によるフォルテ・ピアノのコンサートです。講談は、言葉を使った日本の話芸。ピアノは、音による西洋の芸術。違いはありますが、表現の豊かさ、観客を引き込む力強いオーラに、共通する凄みを感じました。

まずは、講談から。その起源は戦国時代まで遡るともいわれ、講談師が座る高座には釈台と呼ばれる机が置かれ、かつてはその釈台に戦記物や偉人伝の本を置いて読み聞かせを行っていたということです。

江戸時代、町人の識字率は低く、講談師が難解な本を分かりやすく読み聞かせることで、聴衆の教養や教訓となっていたのでしょう。やがて、世相風俗を描く楽しく分かりやすい話も演じられるようになると、幕末・明治時代には花形演芸として全盛期を迎え、講釈場は200軒もあったといわれています。

出版社大手の講談社の前身「大日本雄弁会」は、講談人気にあやかり『講談倶楽部』を明治44年に創刊。同年、社名を「講談社」としたのが始まりということです。

講談師は、右手に張扇(はりおうぎ)、左手に扇子を持ち、「パパンッ」とリズムカルに釈台を打ちながら話を進めます。一話完結ではなく連続物が多く、場面や背景、登場人物の詳細な説明と会話で史実に忠実に話を進めるのが「講談」の特徴といえるでしょう。また、講談の演目が落語や浪曲などの演芸に、逆に、落語などの人気演目が講談に移されることもあるそうです。

さて、実際の講演会ですが、今油の乗り切っている神田伯山が凄かった！

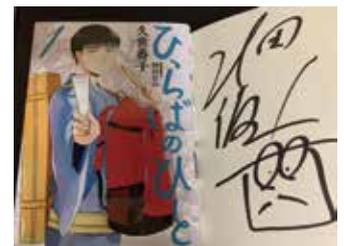
当日の演目『徂徠豆腐(そらいどうふ)』は、江戸中期の有名な儒学者である荻生徂徠がまだ無名で貧乏だった頃の話。通りを歩く豆腐売り呼び止め、冷奴一丁買っ

たそばからペロリと平らげて、支払いは「小銭がないので後でまとめて・・・」という。翌日もまたその翌日も、五日間ごまかして、とうとう頭を下げて謝ってきたので、家財で売れるものはないか探してみると、高価な書物が山ほど積まれているがこれは自分の魂だから決して売らないという。豆腐売りはこの痩せた侍の生き様に感心し、握り飯を持ってくるというが乞食ではないと断るので、毎日煮付けたおからを届ける日々が続いた。ある日熱を出して寝込んでしまい、一週間ぶりに徂徠の長家を訪ねると、そこはもぬけの殻・・・。

ここからが面白くなるのですが、皆さんはこの後どんな展開が待ち受けていると思いますか。至極残念ではありますが、字数も増えて参りましたゆえ打ち切りといたします(講談調に)……。続きは是非You-Tubeでお楽しみいただきたいと思います。

声の抑揚、声色を駆使し、登場人物の性格や感情を生き生きと描き分けていく。そのとてつもない表現力は、後編に述べる七條さんにも通じるものを感じました。

”パパンッ”一席の読み終わりでございます。



講談に興味を持たれた方は、講談社『モーニング』に連載されている”ひらばのひと”(漫画:久世番子、講談監修:神田伯山)を手にとってみてください。ちなみに私は会場の沼隈サンパルホールでサイン入り漫画3冊getしました!!



一枚の絵 NO.130

yukimitsu sanayasu の ぶらり旅日記



真安 幸光氏

大分県豊後大野市緒方町「原尻の滝」

日本の滝百選に選ばれている原尻の滝(はらじりのたき)は、「東洋のナイアガラ」と言われることもあります。滝はおよそ9万年前阿蘇山の溶結凝灰岩が崩落してできたもので、のどかな田園風景の中に突然姿を表します。滝の前にかかる吊り橋から勇壮な滝を正面に眺めることができました。



ひまわりサロンミニレクチャー

月 日	内 容	講 師	場 所
2023年10月10日(火) 15時から16時頃まで	仕事をあきらめない 質問や参加者様同士の座談	社会保険労務士	福山医療センター 4階小研修室1,2
2024年2月13日(火) 15時から16時頃まで	抗癌剤の副作用対策 質問や参加者様同士の座談	薬剤師	福山医療センター 4階小研修室1,2
2024年6月11日(火) 15時から16時頃まで	痛み止めのお薬について 質問や参加者様同士の座談	医師もしくは 認定看護師	福山医療センター 4階小研修室1,2

※令和5年度ひまわりサロンは感染防止に十分注意して対面で開催いたします。

※費用:無料 予約:不要 ※どなたでも気軽にご参加下さい。



音楽カフェ



コロナウィルス感染防止のため、音楽カフェは中止、ときめきコンサート、カフェコンサートは開催を見合わせています。本イベントの開催を楽しみにして下さっていた皆様にはたいへん申し訳ございません。再開の日程が決まりましたら院内掲示、当院ホームページでお知らせします。

お知らせ 研修会・オープンカンファレンス

オープンカンファレンス

【演 題】『心腎貧血症候群からみた鉄欠乏症治療の重要性』

【講 師】川崎医科大学附属病院 副院長 和田 秀穂 先生

【日 時】2023年10月25日(水) 18:00~19:30

【場 所】国立病院機構福山医療センター
外来管理棟4階 大研修室「熊ヶ峰ホール」

【座 長】福山医療センター 感染制御部長 齊藤 誠司

STAFF

publisher 稲垣 優
chief editor 大塚 眞哉 岡本 隆志

【部】

臨床研究部 梶川 隆
救急医療部 徳永 尚之
がん診療部 三好 和也
教育研修部 豊川 達也
治験管理部 大塚 眞哉
医師業務支援部 常光 洋輔
広報部 大塚 眞哉
感染制御部 齊藤 誠司
国際支援部 堀井城 一朗
ワークライフバランス部 岩瀬 瑞恵
緩和ケア部 高橋 健司
薬剤部 高橋 洋子
看護部 明野 恵子
集中治療部 友塚 直人

【センター】

患者支援・相談センター 山本 暖
医療連携支援センター 豊川 達也
小児医療センター 荒木 徹
新生児センター 岩瀬 瑞恵
内視鏡センター 豊川 達也
外来化学療法センター 岡田 俊明
心臓リハビリテーションセンター 廣田 稔
養性・人工関節センター 甲斐 信生
頭頸部・腫瘍センター 中谷 宏章
低侵襲治療センター 大塚 眞哉
エイズ治療センター 齊藤 誠司
画像センター 道家 哲哉
がんゲノム医療センター 三好 和也

【科】

診療放射線科 古志 和信
臨床検査科 有江 潤子
リハビリテーション科 片岡 靖雄
【室】
栄養管理室 藤原 朝子
医療安全管理室 大塚 眞哉
宮本 慶克
経営企画室 重松 研二
がん相談支援室 藤田 勲生
歯科衛生士室 藤原 千尋
ME室 西原 博政
診療情報管理室 峯松 佑典

【医局】

医局 野間 康宏

FMC NEWS

VOL.16 2023

SEPTEMBER

編集後記

朝、夕の暑さも和らぎ、季節の変わり目を感じる今日この頃です。今号が皆様のお手元に届く頃には、秋も深まり食欲の秋！スポーツ・芸術に親しむ秋！を楽しまれているのではないのでしょうか。

振り返ってみると今年の夏は、4年ぶりに全国各地でお祭りや催し物が開催され、にぎやかで元氣な夏が戻ってきました。私自身も花火を楽しむことができ、水面に連続して打ちあがる花火や拍手喝采は酷暑を忘れられるひとときでした。また、これまでコロナ禍での研修や学会もWeb開催であったことから、対面の機会もなくメールのやり取りが大半となっていました。2年前共に学んだ研修仲間と初めて集まり、同窓会をすることができました。Web上での会話も回数を重ねることで慣れましたが、同じ目的を共有した各地にいる仲間と直に触れ合い、語り合う時間はとても新鮮でした。こうして以前の日常に戻つつある今、同時にまた、コロナで生じた様々な爪痕や残されていた課題に対峙していかなければならないと感じています。

さて、最近読んだ本から印象に残ったことを紹介したいと思います。興味のある「ネガティブ・ケイパビリティ」について触れられていたこともあり、ちょっとしたきっかけで2冊の本との出会いがありました。そこには現代のスマホ時代、つまり「常時接続の世界」において失われている「孤独」について書かれており、趣味の重要性、中でも「何かを作る/育てる」という行為(=趣味)が、自己との対話の可能性を開く」ということに心ひかれました。この趣味(孤独の時間)を通じて自己認識を高める行為は、ひいては他者とのつながりの中で協調性をも育てることに繋がるのだそうです。また持ちこたえる能力、待ち続ける能力である「ネガティブ・ケイパビリティ」は、敢えてわからなさの中にとどまり続ける能力でもあり、私自身、場面に応じてそのような能力を意識しながら日常を過ごしたいと思っています。特に高速で激動する環境下において不安や不確実性に向き合い、より正しい意思決定をするためにも、私たちはわからない状態に耐え、問い続ける力を高めていく必要があります。

とりとめのない感想文になってしまいましたが、出会いや繋がりはとても貴重です。日々タスクに追われ、自身の孤独時間を失っている方々(格言う、私自身もそうかもしれません)、趣味を通して孤独時間を楽しみながら、同時に夏の疲れを癒し、ぜひ多くの秋の風物詩に親しみまじょう。そして今年はまだちがった秋を迎えられるといいなと思っています。

最後に、いつもこのFMCニュースを楽しみにしていただいている皆様に感謝申し上げ、この稿を終えたいと思います。

看護部長 右野 恵



独立行政法人 国立病院機構

福山医療センター



基本理念

わたしたちは、国立病院機構の一員として、医の倫理を守り、患者さまの権利と意思を尊重し、患者さまの健康と医療の質の向上のため、たゆまぬ努力を行い、安全でしかも患者さまにとって最善の質の高い医療をめざします。

基本方針

1. 患者さまに寄り添い、患者さまを中心とした医療を提供します。
2. チーム医療の実践により効率的で安全な質の高い医療を提供します。
3. 地域医療機関と密に連携し、患者情報の共有による一貫した医療提供体制を構築します。
4. 政策医療の「がん」「成育医療」「骨・運動器」を中心として、地域に最適な医療の提供に貢献します。
5. 健全な経営に努めるとともに、常に明るく活力のある職場作りを心掛けています。
6. 臨床研究を精力的に行い、医学の進歩に貢献するとともに、日々研鑽して臨床教育・研修の充実に努めます。

外来診療予定表

令和5年9月1日現在

【受付時間】 平日 8:30~11:00

※眼科は休診中です。

【電話番号】 084-922-0001(代表)

(地域医療連携室) TEL 084-922-9951(直通)

FAX 084-922-2411(直通)

診療科名			月	火	水	木	金	備考
小児科	小児科	午前	坂本 朋子 大平 純也	荒木 徹 坂本 朋子 木村 崇	北浦 菜月	坂本 朋子 木村 崇	北浦 菜月 木村 崇 小田 慈※1	予約のみ ※1 毎月第3 ※2 毎月第2 ※3 隔週
		午前	荒木 徹 藤原 倫昌 北田 邦美	山下 定儀 藤原 倫昌 北田 邦美	荒木 徹 山下 定儀 藤原 倫昌	荒木 徹 北田 邦美 山下 定儀 近藤 宏樹※2	北田 邦美 坂本 朋子 富井 聡一※3	
		午後	荒木 徹 大平 純也 木村 崇	藤原 倫昌 木村 崇	荒木 徹	荒木 徹 山下 定儀 近藤 宏樹※2 細木 瑞穂	山下 定儀 藤原 倫昌 富井 聡一※3 北浦 菜月 木村 崇	
	摂食外来				綾野 理加	綾野 理加		水(1週)・木(4週)・・・9:30-16:00
	乳児健診			13:00-15:00	13:00-15:00	13:00-15:00		予約制
予防接種・シナジス		シナジス	予防接種					シナジス外来は冬期のみ 13:30~14:30 予防接種 13:30-14:30
小児外科・小児泌尿器科		阪 龍太	窪田 昭男※4 (13:30-16:30)	井深 奏司※5 阪 龍太※5 塚田 遼	井深 奏司 岩崎 駿 吉田 篤史※3 (13:30-16:00)			※4 毎月1・3・5・・・小児便秘専門外来併診 診察は小児科で行います ※5 交替制
新生児	新生児科	午前 午後	猪谷 元浩	猪谷 元浩	岩瀬 瑞恵		岩瀬 瑞恵	
産婦人科	産婦人科外来		山本 暖 今福 紀章 藤田 志保 小川 麻理子	岡田 真紀 中藤 光里	山本 暖 坂田 周治郎 小川 麻理子	今福 紀章 藤田 志保	山本 暖 岡田 真紀 坂田 周治郎	木曜日(10:00-12:00)・・・母乳外来(予約制) 産婦人科外来で行います
泌尿器科	泌尿器科外来	午前	藤田 曙	長谷川 泰久 増本 弘史 藤田 曙 河野 晋太郎	長谷川 泰久 増本 弘史 藤田 曙 河野 晋太郎	河野 晋太郎	長谷川 泰久 増本 弘史 藤田 曙 河野 晋太郎	長谷川医師・・・金(2・4・5週)終日・(1・3週)午後のみ 増本医師・・・金(1・3週)終日・(2・4・5週)午後のみ 藤田医師・・・金(1・3週)終日・(2・4・5週)午後のみ 河野医師・・・金(2・4・5週)終日・(1・3週)午後のみ
		午後		長谷川 泰久 増本 弘史 藤田 曙 河野 晋太郎	長谷川 泰久 増本 弘史 藤田 曙 河野 晋太郎	ストーマ外来	長谷川 泰久 増本 弘史 藤田 曙 河野 晋太郎	水・・・ストーマ外来 14:00-
総合内科	総合内科外来	初診	梶川 隆・廣田 稔	豊川 達也	藤田 勲生	堀井 城一朗	齋藤 誠司	梶川医師・・・月(2・4週) 廣田医師・・・月(1・3・5週)
			原 友太	福井 洋介 住井 遼平 奥延 太希	齊藤 誠司 何本 佑太 佐藤 大直	東 莉央	坂田 雅浩 岡本 晃一	水・・・齋藤医師(総合内科・感染症科)

ご予約がなくても受診は可能です(完全予約制を除く)。ただし、ご予約をいただいた方が優先となりますので、長い時間お待ちいただくこともございます。あらかじめご了承ください。

診療科名		月	火	水	木	金	備考
消化管内科	消化管内科外来	藤田 勲生 村上 敬子 伏見 崇	豊川 達也 野間 康宏	堀井 城一朗	村上 敬子	豊川 達也 上田 祐也	月…村上医師は紹介患者を午前中のみ
肝臓内科	肝臓内科外来			金吉 俊彦		金吉 俊彦 坂田 雅浩	
血液内科	血液内科外来	浅田 藤					
内分泌内科	内分泌内科外来	寺坂 友博					月…1・3・5週のみ
糖尿病内科	糖尿病内科外来		上田 祐也			大井 祐貴子	大井医師…金(午前のみ)
肝・胆・膵外科	肝・胆・膵外科外来	午前		稲垣 優 北田 浩二	稲垣 優 徳永 尚之		
		午後			内海 方嗣		
消化管外科	消化管外科外来	午前	宮宗 秀明 大塚 真哉 濱野 亮輔 櫻井 湧哉	大塚 真哉	常光 洋輔 宮宗 秀明	常光 洋輔 柚木 宏介 岡林 弘樹	
		午後	宮宗 秀明	濱野 亮輔	宮宗 秀明		
ストーマ外来	ストーマ外来	午後	宮宗 秀明				
乳腺・内分泌外科	乳腺・内分泌外科外来	午前		三好 和也 高橋 寛敏	高橋 寛敏	三好 和也	
		午後	高橋 寛敏	三好 和也 松坂 里佳	高橋 寛敏		月曜日(午後)は予約患者のみ
内視鏡センター	消化管		堀井 城一朗 豊川 達也 野間 康宏 住井 遼平 何本 佑太 岡本 晃一 大江 啓史	藤田 勲生 堀井 城一朗 坂田 雅浩 原 友太 表 静馬 何本 佑太 藤井 佑樹 内田 大輔	豊川 達也 村上 敬子 上田 祐也 坂田 雅浩 野間 康宏 伏見 崇 原 友太 住井 遼平 渡邊 純代 岡本 晃一	藤田 勲生 豊川 達也 片岡 淳朗 上田 祐也 坂田 雅浩 伏見 崇 野間 康宏 原 友太 住井 遼平 佐藤 大直	
	気管支鏡			岡田 俊明 谷口 暁彦 市原 英基 妹尾 賢		岡田 俊明 谷口 暁彦 妹尾 賢	
呼吸器内科	呼吸器内科外来		岡田 俊明 谷口 暁彦	谷口 暁彦 妹尾 賢	岡田 俊明 妹尾 賢	妹尾 賢	月・水・木…肺がん検診 月・木…結核検診 火…市原医師は午後のみ 金…妹尾医師は午後のみ
呼吸器外科	呼吸器外科外来	午前 午後	高橋 健司 二萬 英斗	高橋 健司	二萬 英斗		
循環器内科	循環器内科外来		梶川 隆		梶川 隆	廣田 稔	水…心臓カテーテル検査(午後のみ)
血管外科	血管外科外来					山根 尚貴	第2・4金曜日 13:30-15:30
心臓リハビリテーションセンター	心臓リハビリテーション		廣田 稔 上田 亜樹		廣田 稔 上田 亜樹		
脊椎・人工関節センター	整形外科		宮澤 慎一 宮本 正 日野 知仁 松下 具敬	甲斐 信生 渡邊 典行 中居 祐大 山下 涼介	宮本 正 日野 知仁 辻 秀憲	宮澤 慎一 宮本 正 渡邊 典行 中居 祐大	初診は紹介状持参の方のみ 水…受付は10:30まで(医師…第2・4週のみ(継続診療の場合は次回より他医師が診察) 月・金…宮澤医師(午前のみ) 月・水…宮本医師(月・午後のみ)/(水・午前のみ) 月・水・木…日野医師(午前のみ) 木…松下医師(午前のみ) 火・金…中居医師(火・午後のみ)/(金・午前のみ) 火…山下医師(午前のみ)
				リウマチ・関節外来			
頭頸部腫瘍センター	耳鼻咽喉・頭頸部外科	午前	中谷 宏章 竹内 薫		中谷 宏章 福島 慶	福島 慶 竹内 薫	午後は予約のみ
		午後	福島 慶		中谷 宏章 福島 慶	補聴器外来	補聴器外来…第2・4金曜日午後のみ
	形成外科	午前	三河内 明 井上 温子	三河内 明 井上 温子		井上 温子	
皮膚科	皮膚科外来	午前	下江 敬生	下江 敬生	下江 敬生	下江 敬生	
精神科	精神科外来		水野 創一	水野 創一	水野 創一	水野 創一	月・木…初診のみ(地連予約必) 火・水…再診のみ
エイズセンター	総合内科・感染症科		齊藤 誠司	齊藤 誠司	齊藤 誠司	齊藤 誠司	月…齊藤医師は午後のみ(予約のみ)
画像センター	放射線診断科		道家 哲哉 吉村 孝一	道家 哲哉 吉村 孝一	道家 哲哉 吉村 孝一	道家 哲哉 吉村 孝一	左記、地連予約枠
	放射線治療科		中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	火・金…ラルス治療(午後)
	IVR		金吉 俊彦 坂田 雅浩 奥延 太希 佐藤 大直	梶川 隆 廣田 稔 福井 洋介	金吉 俊彦 坂田 雅浩 伏見 崇 何本 佑太 岡本 晃一		月…午前のみ 木…午後のみ
口腔相談支援センター	口腔相談		藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	平日 8:30-16:30(予約不要)
看護外来	リンパ浮腫外来		村上 美佐子 大原 聡子			村上 美佐子 大原 聡子	予約のみ 月…初回の方のみ 木…2回目以降の方のみ
	がん看護外来			がん専門看護師			予約のみ がん専門看護師又はがん分野の認定看護師対応
その他	健康診断		健康診断	健康診断	健康診断	健康診断	平日 8:30-10:00 受付 ※事前に予約連絡をお願いします(内科 予約不可 産婦人科・外科11:00まで) 市検診の肺がん検診は月・水・木
	禁煙外来			長谷川 利路 (代診の場合あり)			※診察は耳鼻咽喉・頭頸部外科で行います。 水…13:30-16:30 初診は月1回指定日になります。

【休診日】土曜・日曜・祝日、年末年始(12/29-1/3) ※眼科は休診中です。



■ 撮影者からのコメント

高地の草地に咲く山野草「ヤナギラン」、乗鞍エコーライン近くのペンションでの一枚です。志賀高原では数多くの草花に出会うことが出来ますが、この花は別格、スツとした佇まいが晩夏の暑さを忘れさせてくれます。

涼を求めて信州ツーリングは楽しみの一つですが、道中の暑さは半端なく「これは何かの修行か?」と頭をよぎります。しかし、暑さに耐えた長距離ツーリングの後に飲むキンキンに冷えたビールは格別のご褒美です。

季節は秋!!、今年のリフレッシュは東北の紅葉ですかね。また新しい出会いを求めて走ります。

2 A 病棟看護師 中島 和枝

CONTENTS

Topics

日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設Aへの昇格を受けて	1
海外報告 CSANZ2023に参加して	2・3
「被爆者の家族伝承者に応募して No.2」	7・8
1枚の絵 No.130 ひまわりサロンミニレクチャー 音楽カフェ お知らせ 研修会 オープンカンファレンス	20
編集後記	20
外来診療予定表 (2023年9月)	21・22

連載

"中国ビジネス情報" 転載 外科医のひとりごと Vol.46	4
山陰鳥取便り No.38	5・6
No.112 事務部だより 「福山の魅力」	6
No.34 人間の尊厳と自由～失われた時を求めて	9
映画への誘い No.34	10
連載119 世界の病院から	
台湾の病院見聞記(シーズン2-96)	11・12
No.100 在宅医療の現場から	13
SAKE Freak No.27	14
Design No.80	14
マサカツクんのツーリング紀行 No.53	15・16
栄養管理室 No.176 「シイタケの肉詰め」	17
萬葉の花と歌(57)	18
音楽カフェの風景 ～その69～	19

読者の皆さまのご意見・ご要望をもとに、より充実した内容の広報誌を目指しています。
ご意見・ご要望は FAX:084-931-3969 又は E-mail:507-HP@mail.hosp.go.jp までお寄せください。



独立行政法人 国立病院機構
福山医療センター
National Hospital Organization FUKUYAMA MEDICAL CENTER

〒720-8520 広島県福山市沖野上町4丁目14-17
TEL(084)922-0001(代) FAX(084)931-3969
<https://fukuyama.hosp.go.jp/>